

平成 30 年度文部科学省補助事業
『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会 実施要項
山形県開催

【目的】

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や大麻事犯の増加、向精神薬の乱用が増加傾向にあるなど、若年層の大麻や危険ドラッグ等の薬物乱用の広がりが懸念されている。平成 25 年に薬物乱用対策推進会議（議長：内閣府特命担当大臣）で策定された「第四次薬物乱用防止五か年戦略」において、学校における薬物乱用防止教育の充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成 20 年から平成 21 年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂し、全国の学校へ配付している。『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

主催：公益財団法人日本学校保健会
共催：山形県教育委員会 山形県学校保健連合会

1 日時・場所・定員

日時：平成 30 年 9 月 6 日（木）開場：12:00 開会 13:00 閉会 16:30

場所：山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング（山形県山形市平久保 100）

定員：350 名（申込先着順、定員になり次第締切）

2 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

3 参加費：無料

4 内容：（仮題）（敬称略）

（1）趣旨説明

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）講義 1 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方

東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦

（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）

（3）講義 2 身近に迫る薬物乱用（仮題）

元東京薬科大学薬学部 特任教授・

一般社団法人日本くすり教育研究所 代表理事 加藤 哲太

（4）実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局顧問 並木 茂夫

12:00	13:00	13:10	13:40	14:30	14:40	15:30	16:20	16:30
開場	開会	趣旨説明	講演 1	休憩	講演 2	実践発表	質疑応答	閉会

5 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込

■山形県在勤の方は、山形県教育委員会へ申込みください。

■山形県以外の方は、ポータルサイト「学校保健」の研修会申込ページより申込ください。
【<http://www.gakkohoken.jp/>（申込先着順、定員になり次第締切）】

教育関係者、学校保健関係者のみなさまへ

参加無料 要予約

主催：公益財団法人 日本学校保健会
共催：山形県教育委員会、山形県学校保健連合会

平成30年度文部科学省補助事業

『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会

山形県開催

2018年9月6日(木) 13:00~16:30 (12:00開場)

山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング

山形県山形市平久保100

(1) 趣旨説明 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

(2) 講義1 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方
東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦

(3) 講義2 身近に迫る薬物乱用 (仮題)
元東京薬科大学薬学部 特任教授・
一般社団法人日本くすり教育研究所 代表理事 加藤 哲太

(4) 実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局顧問 並木 茂夫

参加対象：学校教育関係者等(管理職、教諭、養護教諭、保健主事、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者)

募集定員：350人(申込先着順・定員になり次第締切)

